



須田っ子 第9号

学校教育目標「すすんで心や体をすこやかにする子」SA・SU・CA・DA

「スキマ時間を上手に使う学習(生活習慣)」(2019.11.15フリー参観より)



カーナビ
校長 内山 晋

11月15日(金)、一日フリー参観には、多数ご来校いただきありがとうございます。生活習慣の改善のための「目印」として、「時間編集力」の保健指導を行いました。その際の様子を巻頭に載せました。2年生では、途中から「家族で」相談する場面も見られました。授業後「短い時間でも、つなぎあわせて使う」という振り返り(評価)をしている子供も見られました。見えない時間を「ブロック」に置き換えて、自分の生活を創っていくこうとする姿に感激しました。

夢は、目標? 結果?

11月22日(金)、「出前授業南極クラス」を、高学年の子供たちが受けました。南極越冬隊員の方の体験談は、90分間でも、子供の目・耳・心を離しませんでした。

もちろん、かわいいペンギンやアザラシ、美しいオーロラなどに興味関心は高くなります。でも、子供たちを引きつけたのは、むしろメディアなどで知っているつもり(既知)になっていた自分が、現実の姿を知らない(未知)ことでした。命がけで生きている厳しい生き物たち。実は錯覚していたオーロラの本当の色等。

そして、「今、将来の夢はつきりしていません。いろいろなことに興味をもち、勉強をすることが大切。そのことが、将来の夢の枠を広げ、結果として夢が叶うことになる」と、夢のとりえ方を広げてくれました。印象的な言葉でした。目的地の途中で寄り道するカーナビも大切です。

地域の方々と一緒にチューリップを植える活動を全校で行いました。子供たちの顔の表情が柔らかかったです。春を待つ冬を楽しみたいです。



須田小 イイね!

暦の上では冬。これまでの学習の成果を確かめ、さらなる成長への時期でもあります。2学期もあと1ヶ月。この貴重な時間を、一人一人の子供が達成感をもてる指導をしてまいります。

尚、須田小学校の学びの結晶としての「須田dy(ふるさと・須田学習)」は、次の学校だよりでお知らせします。



10/30(水)ジャングル探検をからだで表現
3年生は、ジャングル探検をテーマに、体育のリズム表現の学習をしました。動きのヒント表を参考に、テーマと体の動きを結び付けながら活動しました。【撮影動画でチェックする子供】



11/1(金)市内小学校音楽発表会
加茂文化会館大ホールで、市内の7小学校の音楽発表会がありました。須田小の子どもたちも、春の声出しから始めた練習の成果を発表できました。



11/7(木)教えて考える保健学習(5年生)
県立教育センター指導主事を指導者に、市内小中学校の養護教諭も参加した研修会を行いました。授業では、考える土台(けがの3つの処置法:清潔・圧迫・冷却)を基に、様々な状況下でのけがの処置について、けがに応じた処置の違いの理由も合わせて考え合いました



11/22(金)出前授業 南極クラス
南極越冬隊員を講師に、極寒の気候や生活について映像や体験を交えての特別授業を行いました。子供たちが感動したのは、未知の南極ではなく、思い込みだけで「わかったつもり(既知)」でいた南極でした。学ぶことで夢の枠が広がっていくという話にも聞き入っていました。



11/25(月)一緒にチューリップ植え
地域の方々と一緒にチューリップの球根植えをしました。ひまわり会と老人会の皆様16人と、児童全員で行いました。作業中に、「ここは一面田んぼだったんだよ」と、昔の地域の様子をお話しされる場面もありました。

須田小「dy」ここへ